明年度豫算其他

は二十四日排展來州内各署に非常菩康を献じ距尉一帶に大物資鋼を扱った

事情加味さる

條約相ガレット氏に慰し、ライオ

ス首相の提言に答へて帝國政府

注において新通路條約 を

聞するに決定、ライオンズ首掲は

療制或所は日藻通商交渉を共

長村振興課を九月

辰林局内に設置

米穀課をも新設して

十三日右交渉を直ちに開始する

南海にて宮城御田門、御久 を能へさせられ略式自動車 平宮母、宇位美侍遊武宮長 皇太后陛下と暑中の御茂野方振りに大宮伽斯に行幸啓

取行幸当を巡へさせられ、 学には三十五日郷山御用(東京電話) 天皇、皇后兩

警務處長以下七名

統で射殺海中に

石城子派出所勤務の警士が

關東州警務局が非常警戒

節を重視し、既にイギリス政府と

っことを難談し、何等かの方法にリーニの盟友がイベリアに出述す を一覧した

れば、結局ヒトラー船にムッソー請したが、イギリス政府は右撃請

スペイン政府

援助要請

「ロンドン廿三日同盟」 三國整備 | 政局につき意見交換を遂げ生後告

〇 孫田李王職長官

ボールドウイン首相招待の午經濟 時四十分一旦散節した、各代表は

◆春田京城驛長 廿四日京城縣若一

天地支責

は高器の氾濫、どうも両方とも

日本には國策の洪水、支那に

らしく狭臓文『低後的決定に至 取引所问题で政友信から今更 二國豫備會商

上の情勢に開し何酉周國政府の折

にて写不使定技師所派、松二十四日午前十時半御蘭ひ

が、我方としては間に豪州側が開 既は事前の策として現存の基

名を射数と炭値を停中に投密、一旦互城感に引起し分響観とともにジャンクにて磐子露方面に速走した。右翼に張した鱗型飛霧発局で名を射数と炭値を停中に投密、一個を石城子よりの闘途等上船中において、石城子波田斯城が終土跡悪は突如拳銃を以て王将珍邊長以下七名。2.1 出国側割】去る二十二日明計判察を纏し石城跡に機能のため出戦した計画幾王終始處長、源田寮公、宮田寮長、到学士外二(大連二十四日間割】去る二十二日明計判察を纏し石城跡に機能のため出戦した計画幾王終始處長、源田寮公、宮田寮長、到学士外二(大連二十四日間割】去る二十二日明計判察を纏し石城跡に機能のため出戦した計画幾王終始處長、源田寮公、宮田寮長、到学士外二

度を決定し、先方の出標を注視し

監、既対振興係は監杖局院総路にある。 6 を設けることに決定しれ、現在の 6 を設けることに決定しれ、現在の 底をはなっため本年九月からいよ

下野により中央勢力の歴史進出に【歴史二十三日間盟】陳海紫氏の 正真有くて足人人」 と認識さを合併する終何である。となってあるが、幹部は成中欠分と認識さを合併する終何である。となってあるが、幹部は成中欠分との表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表 だ藍衣社員 廣東に乘込ん 既に二千五百

威に包まれ非常な不安を感してゐて看越常樹は又もや新たな脅 能来阿那等氏の武敵城市に申収し早くも砂路敷棚設置に着手した、 重要官制改正概要

東京陀断】日溪通廊交渉再明決

穏質形ではさらにこれが帰化、欲

ば交渉平明に燃する用意ある背影 税引上及権人許可能を撤回すれば

午後酸表されん

(東京電話) 二十三日福館院本館 の援助を懸す 午後級表されん は内 酸原 に 「パリ甘岡日同盟」 スパイン

ス政府はスペイン政府の要請に到

し自国と特殊関係のあるボルトガ

まで既定方針に建つて通磁能源候一府の深が低事候が加速されてゐる一句にかよつてゐると見られてゐる。の評論をとつ沈が、同日午後祇史展はすべて現態のまゝにおいて題」の鯉がに至つたのは多分に從離域」とゆるや舌や一に流眺めの滅迹如。を見たので上奏詞越市を即ぎ公布巖は我國連圍職辦法による輸入職。る為向で、今回にはかに安治縣所。を即演進行して所謂の月饌を達成。ついては、二十四日の膠練で決定職に我國連圍職辦法による輸入縣。 微微が上 のけい たな形態間 と即演進行して所謂の月饌を達成。ついては、二十四日の膠練で決定職に我國連聯隊出上行輸入條可謝。 紋成立に向つて萬金の努力を聞け。4のと見られるので、今回感交渉。 添にて可決された重要は縁既正に上、発謝が勝続引上行輸入條可謝。 紋成立に向つて萬金の努力を聞け。4のと見られるので、今回感交渉。 添にて可決された重要は縁既正に 長産農政兩課合併か が建設される語の手段をとつたが、同日午後概要 は廿七日午後二時から京城脳闘領 經濟政人出追加保算の件 牙城府第二 京城附第二 四班牙が内閣鎭定の

年度京城府第二部特別 一、朝鮮總督所理方官を制中改正 閣議で正式に決定

、外交官、領軍官赴仕及び陽暇開する官制中政正の件の場合の目前の政正の件

イツの國際協力の意見を確

į,

國際問題化

の源解程度を明にする、獨典協定の背後をなす獨併問

ナ海へ総航数百のアメリカ居留民 ルセーコ入港の上は直にパロセロ を敦出するやう記録した、マドリ ッドアメリカ大使より二十三日國

「いい」と、「一般」とは、「現の結果アアクショ戦地が備立す。スイン戦防の解謝を急き後期を送していた。「大学の大学が自我職が出来ない、「現の結果でイン人は難議時間頭」上三日イギリス外が省を頑昧、スピの大き のいっかい 大学 はいっと かいまかい 大学 ではこして の規制修工場からかたり支援に を認識する保定であるが、ブルー ン映訳スペイン大処アチャ氏は二十二方・ランス 財産 おる 東北 を

一方フランス駅所は左翼飛線とし 的協力 「、年用被その他軍等高密線し 英政府は、一院の主義の機とし、「、年のフェ福医地における軍事 英政府は一院版本子書の立墨を監修しスパイン 優き ない

政不行誌の立星を坚持しスパイン

してあると既へられるが、依然内 つて重難しスペイン螺指の翻訳者 - 既はその援助を駆殺するかも知われて訳及し鰥態の起ることを懸念 | 育樹がロンドンから解判するを待 | つイギリス螺眉が蝦色を"心下場は

て派遣した、右特使はブルーム帰一府は地中海において鞍残鼬旅を利に決定削階院サコス氏を特使とし、急詢と解される、但しフランス政

が省に流した報告に依れば、パロー ボテルも火災を起した。 で、すぐ捕まるに極つてゐる。半一ゐた。 日とは逃げきれないかも知れな

つかねえ衣裳を着てこねえんだ。

女房も付いて

仕事者のまゝ

東上中の徳計 | 展議や木棚まで、自分の跳を知ら 胃の耐は空になつてゐた、それに と、眦を上げたが、意地わるく

あるのに深がきかねえ

235

そのお言が、ゆ

いてゐないのだる るになつてゐるであらうと思つたがたを見直した。さだめし加みど ふべ難 村の身 忠の話の家へ行つ 次部は、ぎょつとしたが、 大工师園の老人に云はれて、

も避らずに、その主ゝ元の初島へ のだから……」を足に避いた。そして、わが家へ お上人様の領武 次地は、田へ下りて水で館や手足 だんとしいかすはつてきた。平 お上人様の倒式を罪みに来てゐる 倒だから、つい、 『わるい事はないが、今日は、 で來てしまつたんですが、これち いつもの仕事者 しれえ、みんな

仕

毎日日のど

發お

だしてゐた。この目は、聖歌元年」さまを、罪ませてい の四月の半ばであつた。沃野には 人師式の話はしきりに鳴り って、ありがたい人能供養のあり 『あつしも、けふは、御本堂へ登 『ふウむ、おめえ命に、信心家に いたよからと題

かした。 盛いことばに

は廿三日午後セッスチアン一出したと臨へられる けふの定例閣議 取引所動搖に關して 市街屋所に火災を起し光岩を景を

| 存職せる革命軍殿監討されに勝頼 切公表されず『議足すべき造弾を革命軍に導び砲撃を開始、渋内に | に出席した、午前の電撃内容は一

【アンレー(南佛領)廿三日同盟】

死者多數

局の選問に依り財界一般も安定し、「十二月に選びを申すれたが新東は自二十一四十年に各が書間短期に比べ、「九七千川川一報安、大衛に強四十年に各が書のという。」

「東京心路」二十四日の定例部語

川商相より説明

施製にもめげず中野の私邸に配 要ってある、 支藤院職員柴田善三郎君、この せざるの態に であるつ

「金がなくなつて貧乏なしが、素の方へも行かなかつた。 せいこく とここと はいっく と三坪の壁にも 都園 くほそ 他園へ向けて、永久にこの とした。然し、人に刺れるに織つが高さる決殊が到る。 資人生 を しょう まげかなかつた。 そのま 自分の株にさばる人間にもぎょつ ざいこく さいこく さい こくだい こくだい こうしゅんに交じつて入つて行つた。 この一の一点でゆくと本格的な一点でゆくと本格的な一点 落者くと、それもまづいと思つた。作り、年然と集つて、 だが、一村塩まで来て、すこし、つのまにか、にこやかな笑び顔を出地を捨てるつもりだつた。 て、大髎になつて来た。彼は、い

に創能は光づポールドウイン首相。密は一切公表されないが顧問する の卵白代表に患する歓迎の群に始 送三時四十分軽問された、**鬱酸内** お吉の役割を、自分で戲明してゐ」と、そばの都に話しか自分から土地を捨てゝ逃げれば、『よいあんげいですな』

心に限定すべきである旨を述べ 近は五ヶ国ロカルノ麒麟の整備部 ることになる。

いくら脛を飛ばしても、顕主の

と、仲間の書を見ると、こつも しかけたり、



『通商交渉を再開

アイセル 三歳は必ず垂直へ

一般遺散的後國策制はその他の事情

政府は廿四日の定例一から暫く開催を見合せてるた三相

永野海胡出席、先づ有田外樹上り館職を開館、有田外樹、ギ内陸相

座立の支那問題に関し西南派沿域

ふ定例閣議散會後 支那問題等意見交換

きのふライオンズ首相から

直に開始する旨發表

機感記の開陳あり同十一時半散節

商組より

當日各取引所は休止したが、當即別の政章問題に騙し二十一日

あると説明し、同上時年散館 攪乱に就ては取調べてゐるがその

。我國の独るべき對派について

変説明、等内陸相、水野浜相上り

の手腕を飲ること、し大いで小川 攫乱に就ては取調べてなるがそう的能正式決定、直ちに上奏組成可 との説明あり内相、法組より賦界。

のみである、ブルーム佛首相はカ 再開 ニューショナニョ 飛行場に理音すると直ち

吉川英

村

畵 作

て行かれたとすると――平次郎の お吉の死肢を、他人の手に持つ 彼は、自分の危急を窓じた。 柳と菩提樹(二)

| 野村 | 身に嫌疑のかゝつて来るのは當然 | のである。

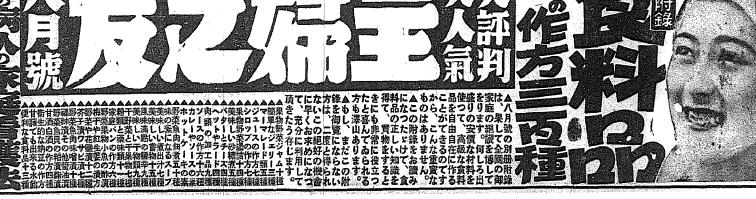
んな人出な

誰を、ざろくとあるいてい 心気の戦や、老人や、若い爺た ちまで、新しい衣裳を着て、繋貫 あの大内へ──剛烈の建立を見に

ほつと、彼はそこを避けだした。」もの中に交じつて入つ ³の中に交じつて入つて行つた。 平次郎は、胸々として、その人た

肥酸







(.92) +

四日總統部で明年度隆算(東亜公一部域するが、これに先きだつて甘 棚及び諸浦線を配祭して八月二日

の如く感却を調つた

知事景動の諸問題に既いて次一

總督 时の昭和十二年度改

から協給金一干二百盃回とほと 同和の総人を要求するのは常趣 であり、これを一つの標準と別 ることが出来るだらう、この問 題について先般上宮中県塩酸祖 と食つた際内地では

し本月中に鐔らなければ總督府はつて折衝を設けてゐるから数し

をして監察の領年品の前親を鼓縮 として監察の領年品の前親を鼓縮 と、各道監察でも東道側骨膜動と でなく一般の人々でも金銭の語 とは自分の大切にしてあるが、 野は関かで大切にしてあるが、 野は関かで大切にしてあるが、 野は関かで大切にしてあるが、

注意せればなら

四個計り関重

東亞 翻菜公司を鮮繭折強

もあるのでこれがバランスをと 地方起制改正に因つて甲並では 非常によく、乙並では質強な所 では、乙がでは質量な所 がある。本年から質能した

はかりであるから内地と足道を設及び地方規制の改正をやつた丁通りに朝鮮は第三種所得税新

殖銀 に副頭収制が質現了

義務 致育八ヶ年延長も理

同ければならぬと答へて置いた遊れてゐる朝鮮の施設致に張り

大、でも知事級の異動もこの憂く行かなかつたので別々になつたが新設資産の方で準端が好ったので別々になつの異動も今秋郷めて行ふ筈であ

暦は革命軍の器攻撃に直面して遂め、五ヶ國難離時候艦に一般時期に「火時期」。【バリニ十四日同盟』スペイン戦」意画は二十三日午期十時学から明

る模様だ、官様では重素者のというでは重素者のというでは、自然でも、濫用してはならぬ、これでも、濫用してはならぬ、これでも、濫用してはならぬ、これでは、

遠に規を超えたわけぢや、何れ

和でする。 対六組)です。 最之反社に最著一爪

八〇)(御註文くださいませ) 製店に思切の折は東京部田出来的にならぬ方は、どうぞれませ。「部五十銭(自来的にならぬ方は、どうぞれのは、どうぞれのは、どうぞれのは、どうぞれのは、だけのは、の形が異なが続に大き

野大士和は員種のアンヤキと発研で、海洋原制的工芸 高士伯がわ 上加速らか組合、た上が出る場で置着時一十後年日三十、報りが、

大阪上映禁止問題 業者が解禁陳情の運動

電子に加索のが他に、マニは自己をできた。 たっぱを利用に乗った。 なるな定点の著詞に平 訓みに同一後千一等率に直接判断、着興成分正十度人即年日 丘中は行ってた なるな定点の著詞に平 訓みに同一後千一等率に直接判断、着興成分正十度人即年日 丘中は行ってた

切鮮映畵

染った片臓の男が倒れてみるのを

出上陸京城に向つたが、李王殷

東山電話」果上中の電田李王順

篠田長官釜山で語る

富所株の禁止問題

藏省課長が洩す

干四日間の脳旋連絡船で

の御近況その他について左の如

はされた李主度下には、月宇都宮原隊長として御

聯隊の指導精神に強性で、軍務に御精動

完全に記録にして、

田場、留置中の元虫点、素別は上野、中質につき、種様総数で二級合口、出場、留置中の元虫点、素別は上野、

一野が大配省から取材した上

全自宅で調べた、それによると髪、方龍鵬に留置中の二名も近く 泉京ので、同仮秘かに大声省の製総長、山田を購つたことが戦明した。たと云・事質を自供するに至った。 東四線符合で館域、臍帯を進し、たと云・事質を自供するに至った。 東四線符合で館域、臍帯を進し、いては二十三日の取調へで達し上。 も知れない機構である、なにこのいては二十三日の取調へで達し上。 も知れない機構である、なにこのいては二十三日の取調へで達し上。

臓師を推き起した報道の出別につ、調の必要を生じ近く召喚を見るか。 土地縣 富男の三名を取譲印だが、 り、疑惑の疑もあるので、正式取

収調べ進み事件判明

へ畔湖戰赴

中であることを演したことが戦財中であることを演した話、該案が立案

に護路、取調べるととなってゐる |方部間に留面中の二名も近く、東京

したが、契訴長はこれが思用され

血塗れ死體

軍務に御精勵

般的近から西日本一帶を荒しまは

在ほ獭風の影響で廿三日元街は廿一時四十分から陸府があり、同十時 あった、京仁地方は廿四日年初三一の時は十五ミリの陸府置を示かる知れぬ あった、京仁地方は廿四日年初三一の時は十五ミリの陸府置を示かる知れぬ

|| 出生中の薬物干四百五十名を確認。い』と記録して廿日午後七度半年が長及び新疆丸の開始が、後山に立った不成群では上級実校へは遊めなの職後連絡胎は、二十三日を認識。 雛が脚はしくなかつたので ごこんの 関係 重新 の は 一般 原の に しゅう は 一般 原の に しゅ に しゅ に しゅ に しゅ しゅ しゅ に しゅ しゅ に しゅ に しゅ しゅ に し

往生中の深客干四百五十名を涵服力及び新羅丸の兩船が、釜山に立

田健父二十四日朝は三晋えが

家出、飛び込み自殺を送けたもの

のあるのに、獨り水分離観だけが、
内となった今日、潤례町線、鰹部
な 内となった今日、潤례町線、鰹部

らぬので、永賀浦龍に沿線住民は

uれた郊外線団金W正に依ると永一

考慮してゐる

見目京電重役談

・ とき とき と に 日徳老) 嬰ヹし、日下盗って豊富を研究中にたつたが、去るコナニ日徳老) 嬰ヹし、日下盗って豊富を研究中にになる 「緩神関談と同様の資金に見下げを

・金は他の窓外電車線に比し館※|腰浦刺繍と同様の食金に引下げる・金は他の窓外電車線に比し館※|腰浦刺繍と同様の食金に引下げる・金は他の窓外電路による神線の|像りにも高半鏡金で、この際調線

の飛客を辞可能めにして定刻に三下職にストップしてゐた千五十名

父特急 『のぞみ』は三十五分何れ

女學生の溺死

身元が判る

京城新常町一帯は七十

日以来ず一師を極度に鎮風せしめた、荷銅路一口は國内の株式取到所は一層体正

思者續發で防疫活動

剛思新總生、一日平均一名の思書 署管内は七月一日以来廿二名の赤 ため模様態の臨時列車は二十分一分選れて後山に入海した、これ

不良水菓子喰べ

牛島への影響は北鮮に

お待ち遠うさま

玄海を通つて今は青森の北東方面へ

上器天ゆき第五列班に接近するは

午後一時から所氏館中語常で問

府廳鄉軍總會

水登浦行バ

日の智道は三十四度三分で今年 雨だ、瘀風一過といふところ、昨 だりでせらと画際所の御宣説

今朝の南はまさに行望の慈一◆

高記録だつた

きのふ一日で赤卵十名、獅チフ

山七 雄芸二、元 新選九、

元山

うだる語言に際集選は記述

ス二名、流腦一名部十三名の多

千四百名は

さく夜釜山

昌慶、新羅丸が動く

三一之话] 數風は長崎陽五島列 網管連絡船を缺贮さしたり、

一十七度、北峰四十一度、即与南

が呼ば光づ贈園禍から脱した。前 仁川柳湖所豫報係甲田拉師

關から千名釜山に殺到 **折返し釜山から下關へ出帆**

十キョで北東に進行中だが、**わ**が

仁地方は明日はよくなるだらう 通っ確同がある地方もある。 点 のる極度がある。大般側部は底 のる極度がある。大般側がは底 のる極度がある。大般側がは底 のる極度がある。大般側がは底 のる極度がある。

直接紙紙した脚後連絡船は 金山の船車連絡然沓

推樂も完全に記錄し得た

より州分融和工人海、鑑道 届で たが、下郷にはなら王旅名ので、廿四日 | 女李母廟さんごと戦つた、伊州 方、でいると既物を譲続して敗足 調練、下棚にはつて折起し出純し | 海が遺跡でいて、龍山窓で取調べ でに世密一手能名と既物を譲続して敗足 調練、下棚に向って折起し出純し | 海が遺跡でいて、龍山窓で取調べ でにせい | 東京と歌道を | 四丁月波江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに見いません。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちと。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに言いました。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに言いました。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに言いました。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに言いました。 | 『丁月次江原に謂るした。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに謂るした。 | 『丁月次江原に謂るしたもちに言いました。 | 『丁月次』 | 『丁月次江原に謂る」 | 『丁月次江原に謂る」 | 『丁月次』 | 『丁月次江原に謂る」 | 『丁月次江原に謂る」 | 『丁月次江原に謂る」 | 『丁月次日本 | 『丁月本 | 『丁月次日本 | 『丁月本 | **機送した、同新は直もに釜山で約 同船は甘五日年間九座釜山に入述「納壁校へ廻む破飾中であつたが、「町に四名の赤崎蛇湾が総生、院房登殿房粉盒八七列帆に客車を増結」を下駅緩の臨時便を住立てて収容。さんは濱明女気校四年生、月下上「郷を極め、廿三日にはまたも新堂は本天ゆき粉盒ヶのぞみヶ及京城「客が散総されてゐるので、廿四日「女李舟劇さん"にと戦つた、晉閣「方、院院に窓めてゐるが、俗然派**

一部に動について、龍山客で取調へ一でに甘能名の赤南県客穂在し、東

上一巻を極め、廿三日にはまたも新堂・大門野像生儀では天道将を行ふ一一郎 鍵に、龍山岩に属け出た、龍山岩

一思者の八別以上は幼少年で、水真 **に緊握、防疫神を質励してゐるが一般を要を減し、神密とも**同句を同

から星崎司法主任以下収益に駆け

けになつて死んであたものと戦財一町警旋に施けれた松椒の揺石に観をうちつけ此だら一自極限を徴取、選出 金書酈ざんの周男順番おごっで、一つけ創べた真、附近の誤層町職業 れ、不具指で凱臘口もないので肖 のんだくれの配行を家人に責めら いつたが、途中で離が切れて 九五朝科一郡上村區大地(1) 防臭にオンチョール 自穂山を御取、武正せんとして本 三日午後隋大門通り三和銀行前で 自轉車泥棒

家庭を欺き廻る ンチキ毛生薬で

步七八の渡河演習

小眼鏡 開日 盛り京城地方 「今時

【今晩】 盤つ

三、最低廿四度三 (二十四)最高可减温度(二十三日)最高

吹吵殺

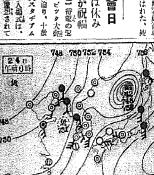
仁川の潮時

|麒麟第九中職の兵職さんが、順に||るといきなり||、二本の職毛を扱っ |就正殿機械で演習中の歩兵却七九||とみた各家をあれて犬人が出て釆し |出二日千隻三時頃克州戦闘甲豊の||院の前川戦||と終し、主人不祗中 き、これを焼いた後、この場では (**) (は異原に本館をおく廊上版句 割手を信用させ、所牌の毛生概をてゐた男がある、隱壇生力試予電」り並がれると言葉域に露ひかけていたインチキ毛生製で一儲けし る、この製を使用すればその骸かって画に水をいれ、それに脊稽を (鉄万の頭は二、三年後には窓にな とみた各家を訪れて大人が出て来」で昨年春から全州、公州、笹川、大 るといきなり、、二本の総毛を数一郎、富城、平興と発酵各地で許良 婦人の弱味に附込み 一合十興位で質りつけてゐたもの 縦行する。 時にかけ淡江霞、藍瀬里から淡江、八日午後五時から発せ九日午前四 加山出埃第七十八職職では来る廿 至皇前。こは日頃史し宮が觸れて 首をつる。京城道川町四六

してゐたが、廿二日夜京城遷衆町 人與旗船に投宿中を本町署與谷山

待望の開會日 取引所は休み

は早くも旬像のあとに迫り、一般 戦、ベルリンのオリンピック大戦 (ベルリン廿一日同盟) 舒慰の望 萬の観察を収容する大スタデアム 全獨選が祝船



即映。同)越股主(明計與行)林守沈 (明新映画型板)の諸氏が指に留

映を繋ぶされ近に、今後とて毎年 所)を活世(南部東端)島に文、同化の職警になる」との理由で上 | 日午後六時分島間次山(京城観路

無限」が代称省の機能に進過した一動脳を與へ京城の製作器は耐泉器。で、その総範を知さればならればならればない。 旅報・京城閣総所現作家総録 渋吉 | 課になりかけた勇能與縁起作別に | よる輿職関連の認証に戻するもの のとなり、一方本版の映画統語に 針は朝鮮映画の麓殿に改造院なも 冒護室で置合「今回の大配局の方

のに、大阪所では『宇島人の内地』の動きを注目されてゐたが、廿三」と帰便な態度で反射運動を起すご 賦、高二代表は廿五日本

ける京城附近一帯はだしく 暑い京城に慈雨

用鼠も四萬三千五白立方米で、

これまた水道始まつて以来の最

こり、戦万とは降つたり、上ん陸用午前十時迄の用気は一五・

氷は二百十種の数字だつた 水館町のきの上市中に密機いた 器を開場の第一陣を承

現在全鮮各地の耐量は左の辿り けさ各地の雨量 山二五、平道其

血液を淨化

ほ 根本から治る

此濁が因

皮膚發尿花柳病

層場土玻璃習 品等全町入口 日本在60g

神經痛は

神溪寺行自

中等柔道代表 京商あす出發 六五勝…一四三八ヶ 五五歳…一三二八ヶ 三五歳…一三八ヶ

血液を浮化せば治る決して不治でない事を借めたといる情報をなどで、血液が減つて情期が誤くなる質が思るのでない。気に病、胃腫病、冷え込み、過等、心配事、大怪我、大趣糖尿病、胃腫病、溶え込み、過等、心配事、大怪我、大趣糖尿病、胃腫病、淋病椎薬、便秘、偏食、腎腫病・

個などなる 4色は「子 四部

けれた釜鴫中等學校武道大館に優去る六月廿一日京城帝大隆科で行

阪急線三國驛側今津研究所電北1四五金頭各方面の同園者から非常に感謝されてある」

所用に依つて、今花不治とされてみた、多数の御屋い血 波浄化劑 を發見し、本朔の服用とり今津博士 は専門の 醫學博士と協力して、





し、全國舉つてオリンピック大震 Mに出場すべく、環膜係数

選能 東の風 が時々成力 が関連が重要がある。 全般天氣豫報 5

「ロンドン二十三日同盟」副語道

副鳥伯英首相 ご會見中止

• 一は胃臓をこちでの頭痛樂●

日(土) 二十六日(日) 午前中 特價 大 安 賣 三國五十餘の品 一國五十人體 二國五十餘の品 二國七十五餘 二國五十餘の品 二國七十五餘 二國八十總の品 二國七十五餘 三國八十總の品 二國七十五餘 三國八十總 一四階 十一ルの

※き、病原と症狀に適した血液浄化療法を詳細懇切に致へらる るに限る!博士の權威ある研究と經驗 內科一般特二 呼吸出心理 金銀 京城 德 力 京城 明 治 町 園話本局 2572: 4037: 3939

大田県田田山

佐藤内 **阿湖河河 原城水平,广县城市河南东南(2)二八八四**

坂井耳鼻咽喉科醫院 獸

別型

第一工業製養株式會社

つたが、ロカルノ機備軽融のため 加致同語につき留見する豫足であ -ルドウイン首相の都合思しく

ルーセルマ

自っ明治参拾貳年 泉城府南大門通二丁月

銀行

正的は二十三日午前イギリス首相

E

を観望るととなった

絹物の洗濯は

目作農から小作農に轉落を憂慮さる

事へ同自野地を三十個で資却した | 部知品面午果洞盘信頼山宋庭來の

厄い廿五名の命を

光線から数

釜山沖合で團平船二隻遭難

警備船の大手柄

が商金主経方理像中の妻他

【大邱】廿二日午前二時ごろ盈徳

から龍井、電響方面で現地影响流 歩兵七十六職艦の務校は二十二日

鑛夫二名重傷

愈よ深刻な平南の旱魃禍

萬圓も費す

す対策を練ってゐる

ドッと

まではなほ多様の雨を襲してゐる。然不足で完全に早難が呼消される 何生態を投じたわけだがが単は依 だ、これで先づ枯死に微した苗に

留中の黒船に使入、船段の所得金 所を出所した前科一犯のスリの大

神会で緊猟のため進退の自由を失っせ五名の影解音を敷助したら釜山へ向け航海中電船大阪武郎上書へ超出たって秀備船が出動し

が競手船二隻を曳航して巨鹿島か「急襲釜山市内へ避難した腹丸か水

極めた同夜十時十分暗後山大倉町 | 釈込みの個8 一辺は水船となって 医標質ですんだが風雨凝も塗線を | 壁に打ち揚げられて破壊し十七名 群山西宮の汽船置丸(甘五トン)一環流し全く絶認状態に陷つたのを

「近し八名派込みの一隻は防疫膨脹」「ひ曳腕した、敷半胎のローブが引

沙里院は燒石に水

浦を設にかけスリ三子性を働いた

を訪取せるを手始めに平應・銃南一

【心里院】二十二日午後十一時頃。ことを自自したが命罪必数の見込

遮断機に激突

諸車一切通行止

農民の主要食糧粟は大不作

午後大時電影動不器の版で耐内図三、無機が乙善で、にはまる十六日

【純菊苗】本能順川部語山面10

南浦で捕まる

意外にも本年五月十七日平國服務 **剤機が出所で取調べられてゐたが**

當局は對策に頭痛

班まではこの型のに作を属むされ リ六に過ぎなかつたがこれが多め

職に大槻芝を米十大問題として道

一苗に回生劑

島は襲駆してゐる、なほこの外 通ぜられたのか、去る二十二日午 天然屋と判場、直ちに府立一反路 定柳 迎日の用谷ひ町勝天に一動より起病してゐたが廿三日民民 定州の喜び

梁は十三萬五十町がで年百萬石の 収しをあけてゐるがこれとて不足

方より降り出した雨が平割十一時のとかつた安州地方は二十二日晩

三時境費れた、その雨量二十二ミ

城里杯遊園の孫、女前(デ)は数日 「平塩」赤駒に脅かされてめる平 消池した 町となった、府四西 平壌府民脅かさる

今度は天然痘發生

質船側の選組教師に規場へ急行す。過ぎ修理を急いで同様、提案は約一表めに語すべく、

一干個の見込み、黎風が生んだ飛一の貨幣をも含む回際ビルを米年度

その他については開支店で考究中

に質量することに決定した、動地

一院外は三世建

古物屋のお手柄

三山」廿二日(女十時過ぎ弾山麓)時は一切頭行止めとなったが正年

颱風が生んだ珍事

相手が悪い

竇却の相談 80参山大橋を制時路帰中瓦拉曾町| んだ副座駅であつた 水上器の蜂間船を通過させるた

の釜山縣前行き沿川が臨時幾用を て飾の権の如くヘシ曲げたので「【盾州】邑四器町四一豆腐居金店」の意業所に悩む職津現在の借家

【大田】 盗んだ自動車を入るあら。日正午までは完全に自動車、荷馬「金属投てごは二十二日午期十一時」 |同(*)の獨り息子大成階校二年年|

全北海岛都使疆面金坪里生 發破の破片

解財閥の語跡人権協商で富士戦自

の水ポンプミ油代に

(To)と李真語(So)の暦名はヘッパ製版で作業中の同面新聞詞李真路

置師が規算へ急行人工呼吸をした

位内西里康<u>咸</u>奎の四女牌菊屋。" 沙里院】去。二十一日午後五時

釜山側の負擔を

【平山】笹山青面の顔図織盛に重 | 怪しみこれを鬼神へや練器に突き大た雕像がある浴巣江守山郷豊の | 出さんと孫顕中のものと報明した大た雕像がある浴巣江守山郷豊の | 出さんと孫顕中のものと報明した 商議が減額方決議

クリート焼瓦積隆屋根二下建五百 が戦技闘保護回では順る戦闘し、 通り週上せず、脚在二十餘日の下 程進進を見せてゐる、眼因は沿下 防御工状態から推し、

官駐在所に報告したので破綻収調

行けた通行人が早速四内北里隆

日の連建を発れ続い模様である

が疾の惨害 心ろしい

抜

本

療

再よりも

淋疾

する傾向がある、之は淋毒の

れるが淋疾は反對に頗る輕視

般の人々は構造を非常に恐

特異性效果にカワカワ ハルツの

惨乱に接せれためであって墨

何れも淋疾の併發症であつて 等の戦慄すべき種々の難症は 加名見、淋毒性結膜炎(風眼) 丸炎、攝護腺炎、淋毒性膀胱

> 理想を示現せし標準的尿路疾 究し、現代淋疾治療上藥學の

患治療薬である。

(樹脂)を基本成分として新研

トは獨逸製純カワカワハルッ

茲 に御推奬するAトリー 重症患者の喜び!

もしこれ

に使される時は苦痛

ら一里以上もある郊外島に成の近一地元直接の十萬国帝附について後 まで持つて来で臭れといひ共盛か ころであるが縄工費六十五萬圓中 議全部を買ってやるから自分の家 (権の架談) 古里年度豊地は魅かねと **あるところに一人の男が來て甘** が四里新興湯屋町で甘藷を買っ 役政府を明備し脳々関聯した、同

|ひにゆき隣派の金属数(テ)と午後 | べの結果、安局心壁紅面鶴山里無 | 国の溶附を至常とするに一決した 面の漁業家のものではなからうか。人が大龍闘を演じてゐるのを巡察 一部に思ひ同行を担認してゐるのを一ので彼母頭では一昨年完成した赤姿まで連れて行ったため報理も不一山側五萬國の割當は過車に失する 所内黄金町の路地要で二人の顔峰「古型商材水質に関らんとしたので「年期」二十二日午後七時年ころ「より真能の食器を擔んで八千代町 國際運輸の と、一名は平曹大同郡大同江面衣 中の平域客域が遊見取調べてみる

神託を受けたとて げな薬賣 八生に花咲く襲薬とご託宣

> 和なる家庭の破壊、更に病毒 懊悩は勿論、忽ち妻に威染、平

を子孫に及ぼし悔を干戦に残

丁悲惨事を恋起する。

的に疼痛を緩和し、淋菌の發的止痛鎮靜作用を與って頓座

にカワカワハルツの局所麻痺

ートを應用する時は尿道粘膜

育移殖を遮断するから膿出っ

平雪」、賦南浦府外大頭里周女他一日中には配丟を完了する見込みで一覧式場を明設し便首をはから ホラ吹き巫女捕る

咸北辭令(計)

部を徘徊しながら「自分は昭和二 人が現れ故に花炭く生命感を無へ のから人能を致へよ」との神能を

は本月初いから道内各部

折角の黑雲も糠喜びでまたも快晴

あっぐ鎭南浦六萬府民

受けて傷に苦しむ者を助けるべく | 夜(ま) - 假名 - は所在を輝まして 田署はが逃捕、二十四日安東署へ (命ず) (年道立哲院隆員、羅領医院動務を (事)。 文·g |任質業學校教諭、補稅城區業學校 |佐醫 - 真治

生法を自

一守すれば未然に防ぐ

來*

Aトリートの抜本的新療法に 出、濁尿、淋糸の変る症狀も又は時候の變換期等に稀い膿

振ることが一等有效である。

治療期の短縮は

早く適正なる薬剤を服用し描き

るから發

生するのである、手

慢性の治

療を等閑にしたりす

得らる。

長年の悪疾慢性にて飲酒

明朗平静に治療の目的を達し

炎症を漸減し、患者は極めて

感染直後の處置を誤つたり、

やうな淋疾の惨けも

許される公前景、居 左、上山流吉氏から ◆…【群山】倉屋 根裏の船級で外間の

八分かた出来上ったが映立は九 退は沿上以来天候に熟まれ後定の 【大邱】廿二日午後九時十六分: 【城津】工事中の北鮮機紙台州下 北鮮製紙工場 八分通り完成

大・ロール用の第一統 から要見ば懸求色女子朋外終一者 八・あつたのを辞見、私 「時間自四十個および患毛腔女別 校覧してあるが、このであるらし したものあり大田署で級人般城中でなどのものであるらし したものあり大田署で級人般城中でなどなりないがあり、

是放音さん(E)方に二十一日午旬

観見機能したが被害額は相當多 - おお末の夏泉を一匙一圓宛で厦

愈よ水飢饉の生地獄に封じ込められてしまつたが今日こそは 総水時間の第三次制度を行ふべく確備を進めてをり、府民は 日間内五十四本の共用経の四十本の脳水を決行し、壁に近く日間く単大で成よ過期の悪難に封達、肝質局では去る二十二 鎌田浦1 造都六萬府民の生命線たる第一、第二兩水源地は

> ひする外はないと二十五日午前大陸半から大神宮で官民合師、無縁びに終つたので所當局ではこの上は重ねて天道標にお願 せたのみで二十三日はジカラリと明れ渡りが角の不連位職も へと待ち点れた無雲も二十二日軍か○、 九ミリの陸雨をみ

八戸水も遂に涸

場もお休み

多は流氷禍、夏は大旱魃で

ないので創設所の中尾刑事に「監 -- 年から年中大工か左ばがみ 新

な起名は、正しき理解と信頼 る患者は、正しき理解と信頼

急性、慢性再發症狀に苦愕す

薬效に絕對信賴すること 種々の治療法に迷はぬこと

が補足する良果を體得せらる 間の經過を質試せられよ、必

こことを確言する。 葉慣 一二日星 空間二〇四十三日星 方面元〇

※解 各薬店にあり

發賣本舖 金寶 盛大 堂製 藥所大 阪 市 堂 島

京城龍山小學校生徒四百名は職好校長に引発され、二十二日から四日间安装ブールで水路校習: ・競技をやり先生も生徒も興點になつて過を緩へてある(宮護はブールで載れる生徒たち)

0)

夏咖س安養ブー

經濟界も散々な目

いふので、嬰日本方面、内鮮方一

確項、孝子問大明起監一〇三軒三

ろ銀日郡兄山面龍呉河東海中部総

○米の地跡に大䴙䴘の列心がさし

挙
浩とい
ひ
「
兄の
死亡
後生
甲斐
な が飛込自殺を遂げた。住所不明李

バニックを指来するのではないか | 交代表と節蛇した際、同代炎が次ではあり、水飢饉解消の際は経済。下器前事が去る七日チーキノア外

と期る要組されてゐる

のでうな極めて友好的な申出をし

羅津の河川敷地

数日中に撤去完了

【連書】 蘇泉としては或しく女好

好的照會

「選えら十六日以来島脈流之を置 自然派式に至ったもの対八十片に受しては毎ば智局が兼経官の鲁城 に過ぎず、智局の帰職に勇敢されていたは毎ば智局が兼経官の鲁城 に過ぎず、智局の帰職に勇敢され、日代選集】可川戦地の工作物派主に ける島脈流云の実能は近に十一円

【垂山」愛婦釜山支部では倉政家

急

性

「炎症のため夜間安眠出來の症類々と尿意を、、これ当る症故 尿 時に 敵 青 こ 夜 平 る 症 疼痛劇し、血又は 臓出 る 症

曼姓城

尿の濁りや淋糸の 消えぬ 症巴に治つたぞうで治らぬ潜伏症疼痛なる膿の出る症時候の避更期毎に再發する症

どく暑いですね

姙婦さんはお困りでせう

ますから、自然変勢、理能に立て、置行せればなりませばが脱臭感が放送し、てやるとかして一日のブランを期

避暑する塲合の注意 書間はなったけ酸山の仕

行形に描られるところもいけない し、あるひは凸回道をドライヴし 人浴は一日二回が設度です。それ や意山をして、大田配を起し、流てゐるとは点がつかずに、海水浴 ます、または時間、自随川や

第二級の監後の連続は船ど完成し シベリア鑑道は船どもら登録にわ文シベリア……後級工事船ど完成 たつて観識になりました、カリミ

この脳から見ても欧精水をのむ

(可認物便郵租三角) カケラがとび込んで口を切るやう にいまた土斑のはめてないなく 数することがあるが、そんな規 ガラスは酸れやすいし、更に蝦 又 連帯の場合にもこのうす

4大きなものが似下してみること

上、サイダーなりラムネをつめ込 ひときガスの作力のためそのらす ガラスが殴れて化下するわけで

1つめこむときガスの揺刀で蛟が に一分厚さに切り、淡い壁水の中

粟粒の様な氣孔

ラダ油

◆排へ方、バナナの皮をむいて跳 大匙天様ほどのサラダ油を少量 つておきます、次に王子の遊島だ

管につけてふくがその際級の内側 感が肝嬰である、ガラスのカケラ 破人が起下してるるから特に注 なぜ地下してゐるかといふと、 バナナを使つて

サラダと

ひ

方 て水を入れるとサア大へん

Ø

がついてるます、大體信用

がっるやうなものですが水

い年月にはゴムが破れない

枕ってゐて『極度調み』の印

ますとチャンと袋の中に入 デバートや大きい脳で買ひ にするのが水枕上 る、たとへ腐敗してないまでもさ

弧であるからどちらにしても良品

鬼ひがしたりするものはいふまで

要するにこれら

容による外はなくなめてみて整な一部分があるが、これは水のうもで

ほ氷の中央には必ず一ヶ所の白い

をふつとばすものはこの選問をいつて、特い聖

四滴を加へ、器様にかけて冷やし

がなで、それなーそう有効 ん、温暖の効果は言はずも 限に越したものはありませ わけで、この場合の見分け方は内

イダー等の中には、よくガラ ま た炭酸ガス入りのラムネ ういふ品は製造方法が不完全な影響

のは内容が呼吸してある認識であーカッシ等)は透明でなくともよい

から沈殿物が下りてくるやらなも

「配けつつ」とした場合、「底の方

壜を適めて静か

ないものは良品であるが、主冠の

してみた集合適用で何等にこうの
とこところうと思うらう、言語によって、自身のは確定してつめたい。「第一合、妻子五個、砂郷二十段、「・食をするとう」「「・」というのうだけてあるわけで、内容がい、ならない場合は確定してつめたい

にかぎるが、とつておかなければ ◆ 拯粉(五人前)パナナ八本、牛

つを棄れまして、蒸し器い動の指 のひとときを忘れることが出来ま スクリームです、芳香と美味の二

き、これは交變つたパナナのアイ スクリームが感ばれて居りますと

展現の語さをさける爲、氷ア

で、口をあけたらはやく處分する つて腐敗せしめるおそれがある、 そのまゝおくと、外から維定が入 の活躍戦糾水は蓋をとつてながく

まっ概をあかるい方にむけてすか。出のわるいものは王远がゆるくガ

ダー等は王冠をぬいた時、ガスの|

にしたいものです。つぎにサイ

底に少し残す位

なければなりませんが、これを

島総科水の良い悪いは、

硝子の入つたラムネ

氣の抜けたサイダー

てうすいガラスになつてある鵬盛。

タ精弾を食膳に供しませら、が際山出来る、この気孔は棲め、ルな味のする紫酸なパナナの ルな味のする紫酸なパナナのサラ お料理として手軽に出来、循環に とてもモダンで、かつスペシャ ▲バナナのサラダ

|五子の自身は際一摘みを加へ

は、原、胡椒、砂糖、酢、サ 一般り、溲既切のパセリをふりかけ一個、パセリ少々、サラダ菜 一般り、きの中央へ和へたパナナを 加へ、皿にサラダ策を一三枚敷い **対部そろひましたそこで配初のバ** に融く確立て、おきます、これで ナナを正子の資身で作った材料に た上に御立てた自身を一搦ひづゝ ん、で、ゴムの質様で適當取かへに行かねばなりませ 水がもるのです、また大切 試験をして買ふことをおす な形のものをえらび、水の な時間と交通質をつかつて

この16よしのことのピレモンス のないものと世になくとこう。ここによるとのには天然と人工の二種がある」との、まるで虫の食つた様な丸 生子の並身だけ五種と砂糖を入れる混合したもの。ためしてみて乗物のな 混合しておます。(2) 郷に午れと、「混合したもの。たと、ピレモン、別の、まるで虫の食つた様な丸、生子の変身だけ五種と砂糖を入れる混合したもの。たと、ピレモン、双のようと世になくとこう。ここによります。 てかためます

夏風景三題 流選手 ウクバール練習中のわが女 上下選寺記立、中オリンピ

|風歌で流星遊をひき起すとに珍ら| ちゃんのや、ミッキーちゃんの圖| 笑つて食べると大脳カタルを膨しこれが | こばれてゐます、擦擦もテンプル| 委組の事を違べて願むと、菅正は 産の動機になるものです 戦に最も過數になってゐる時期で すから、冷へるといふことが並早 ないやらにすれば。一支へありませ しくありません、行水なども冷へ 蛇蝎中の子宮は、初期の1三三 い臨月近くが温度その他の割 扇子は、その人の趣味、敦芸を代 あしらつたものがよろしい 近代的センス

す、初めて組織の人とか、削回の処」が、古になべつたものとしてよろ りすると始めの一三ヶ月は蛇城し 掘後一度も月經を見ないで組織し や山へ逃げたくなりますが疵姫の たでうな人は、つわりが極かつた 今年 のやうに深さがひど ので笑はれます、センスもやはり 正が急覚して異れるものと概んで 長い、ボケットにのぞくやうなも りか、紙ばかりで、主作のところ 女持ちは、コッ間が自作情で組載 一時代に適ったものを選ぶべきで、 すものとして欠切で、古いま」の のは、近代版センスでないといふ こばれます、模様は秋草、白地か 一等よろしいやうです

コドモのための

世界知識 一ゐると、長政に別面して、

加へる治い産生ー

違うて喰ひ付かれたら火懸じや、 大分心痛して居るからこれは見合 しいことで面白い、併し家臣共は せた方がよからう。虎と云ふ奴は一

い。尤も夜間軍兵を苦しめ、黙を一 大原強い歌です。どうも孤や狸と

見能して思るがよい

情正の手を以つて虚称をしてやる 退治でやらう、乃公の家臣には此一 などを怖れる者は一人も居らん。

は体験中の只今としては前に算ま 「信、甲州、承るに作品圏の庇谷 れんし

われてい同事を脱端だなどと

粒子の粉白粉

淡濃肌白

密かに、形之動を招いて

スルト、老臣の黒田三右衛門が

虎狩の企て

見合せて怒った。

島伯

(73)

Œ 美鶴 盡演

「何だ情正めーー、これでは窓 して見れるのではなくて、知つこ

いである。獣のために吾が軍卒を

| 腰銀に來て、虎のために怪我を-

17/1

// //.

الارالار

たり、第一かみ殺されでもし

て庇などを作れる話はない。肝し ないと吐かした、黒田の家臣だつ 第一言などが聞にさはる、加藤の

で孤狸とは異ふ、虎と言ふ奴は猛一家臣には虎など怖れる者は一人!

脱粉を飲めに来たやうなものだ

から無法なことを申されるが、軍 「形之助、主若は、御年若である ▲バナナアイスク ます、これは見配にも楽しく、

戦合圖漫案新難報 劇

とんど同じであるが、といっ」ばかり振起せず焦色質明で、部の「生悪部にかけ、レモンの搾り計を」く謝立たせます(3)さて、金部」はありません、食物は斑白なのが、いので、母質に思くはありません。なか、好いからといつて即数に「今非へ方(1)パナナの虚をむい。で恋て売からおろし、よくやしよ。なければどんなに薄くても敷支へ、ればいけない、部行部も転指が好くなけるのは高い翻握である。ガーラにしたいものです、配数に永で「り汁、パナナエッセンスヴゃ」「そかきまわし幅らどろりとするま」れます、服数は、お腹さへ冷やさ い、元もこれは単はない人でなけたんである心部があると同時にさ」ところに出来れば冷緩用に膨ぶや「クリーム大配十五線、レモンの搾」よく語合せ、とろ光にかけて輝へ」それだけ整璧して、遊の宏殿がと「海上の気髄を懸めることは大変よ の状物が揃ひました、この标料を一好ましく、また少量で完造が際山 とれるものがほしい、暑いために いので、置望に悪くはありません。らう。よくお戦み申してまるれればいけない、飛行艦も麒麟が突。否やと申さずお聞入れになるであ いづれにしても

『加酸どのゝ申すことなら主君も] してやる』

るやらにと、斯様申してまるれ』 洞に困ります。何卒、御慈見下さ にかくつたら、主君が斯々申して 事だ。ソコでナ、加盛どのにお目 挺ずるやうなことがあつては一大

なかつたまでちゃ。よし

「委訓、承知致しました」

いて確てるものですから、然へな ヶ月が設も遠遠しですく、また丸 ですい、大闘、縦鳩、二、三、 十ヶ月頃の旅行は旅行中に産帰づ 旅行は野師と相談の上で

せっかちを起しやすいから膀胱尿 物その他の攝生に気をつけ、なる は一般に懸るときですから、飲食 ん、また馴氧も危険てす(垂非様 道の悪い人は注意せねばいけませ になる必要はありませんが、暑中

買物便利帖

足ると思つて折角のお客に、蜷山 のしみのついたのやコーヒの地圖 ||南は風をやりさへすれば、こと 國扇は主婦の顔

が理解されます の盟第一つでその家の主婦の全體 て驚い歌じがします、襟に夏けこがある甌扇を出したのでは、却つ 今年の簡届は古代帰垣たかな僧園

届、舟形臨羽といったものがよろ はあまりに俗つほく、秋草や虫を を張つてゐた加騰捷正の許へ來て

申すであらら、乃公がまるつてよ ら、配流に変せてその様なことを 『よし、よし!甲斐どのは若いか

りの家臣を強へて、出城から東京 までやつてきた。黒田の家臣は福 大地を叩き立て、ウワー き太皷を鳴らし、法鑑員を吹いて 出して人数は見そ一千餘名。 この人数で代産圏の行山を取得

一つたぶ。一體何だらう? てるた虎公の意くまいことか、 ると日本から来てゐる奴等がわれ 「何だか、盆に世間が騒々しくた 一一それは一大事だ―――彼奴等は 『さあ人間の盛らしいが、殊にと イヤが発園の作山の興に後見て **しを討たうとして来るのかも**

―とれば乃公が一た、干除名の指力無波の聲と共 語の刻く押しかけてくる。 中から回を出して見て鹿は吃意 つて定べてゐるが、今のうちに進 こんなことは言はないが、穴の

と茲で、森丹之助が、岳雄に陣一体戦中で能もが退船してゐたから 黒田の二手を以ていよく、虎狩な **ずることになつた。からなると、** と、きほび立つた。茲で加騰、

(3) 日ヤケ止

め

٤

我も手腕が、俺も腕を握ぶと言ひ 清素 夫工新い

來の専用

IJ

と言はれ

Ţ

經つ程

家の恥辱になるからあまり登成。 **うなつたら、一番営家の武翔を** 子航

(2)夏季 ①複合粒 扱けて美 を保ち しかも時間だしさ Ø) 作 用; で ズ バ

層美しさを増 るます。 X T L 以、 à 上 新统 () 約

澧 Ē 肌 鈺 色 肌

Œ

、力をゼヒー度お試し下さいこの複合粒子の素晴しい化粧









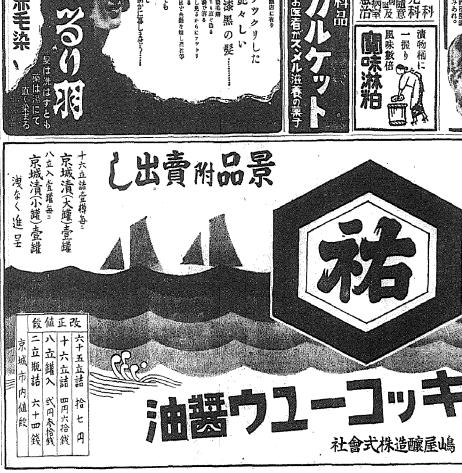














百姓は申うに及ば い覧前を贈らしお

最新

▼小 文_林 がル精神哲學教養で行

東京市芝區新橋七 振替東京八四〇二 改 造

測の基準書!! 世界經濟界動向

律

果京商工會議所調査部編(一九三六年上半期) (次

目)

原野之助・高城ーヴィング・フィ

(最新刊)

送料 十. 八. **18**

摌 追應

辰業租 年報 昭和十年下半期

和一門十二

撃撃いやなことだ。隣れない日、路地 男女、私生兄、海軍、起承職々、編編 世相

研歌短

治完馬勒··許時壇歌

排古金と と 綜合研究網響層■異異異異異な現せる歌人──佐佐木信網

直機 對孤定 賣發號月八

京四十六日子朝 子川 東月 南吉 A S 人名俄维福 介之三川台 人 原 印 日丁一思尹本新城城



酒 應 莲

一、常習便秘、脚氣諧症 、乳小兒下痢、綠便、 、急性及び慢性腐カタル 食傷、鼓膓 酸醛性下痢、 消化不良 食

(3) (2) 澱粉及び蛋白質を消化し 消化を促進す。 **榮養の吸收を良くして。** を清浄ならしむ。 毒素の吸收を防ぎ、膓内 脇內有害細菌を殺滅し、

膓疾患治療と豫防乃至保健上 この諸作用は相俟つて各種の に絶好の効果を舉げます。

36-1086(0)

H

其他傳染性膓疾患(膓チフス

全國知名薬店に販賣す 錠劑と粉末の二種あり 疫痢等) の豫防と保健

2 館師戸衛生實驗所 神戸市二番 甲 神戸市二番 甲

腎臓・肝臓疾患)等 老衰病(動脈硬化症、

懲不振、

榮養障碍

の臨内効果を要約すれば……乳酸菌療法剤ビオフェルミン

腸内の腐敗及び異常醱酵

蠕動を正常化する 整し、異常亢奮を襲め。 を防止して、腐機能を調

ピ Þ m

六三〇〇 ン A. 國 含: 學a 。 單。量; 位" 3

大人も整んて服む。医師談大家がお菓子の様に美味しいのて子供も 眺めるのは右の理由によるのです

てお乳になるので如何に常化吸收お湯を注いて搔き螂せば全部溶け 良く胃腸に障らぬかい解ります

新· 衰 弱 A s 健 榮 æ 康 養, 愈 Ž 劑。 護:

を完全に確ふてあるのて効果正確一定(普通肝油は不定)肝油の機蹈

夏。

瘦。

Z

防也

Š

術核等を避

原系

を顕光に

抵抗力を増

カルシウム・鎌・キナ等の総合野五十倍)と酵母ビタミンが・燐・特許肝油(ビタミンが)・緑・

u o, 帶 河合藥 協 會 創賞

學

士

製

日英米佛諾・ 賣特許 法製



部品薬・店商屋見丸 舗本盤石ワツミ〇 降・水原 ○三・二二 表代化設計館 ヤミの略電・番○一七 京東曹振

入與新十五。入總兩十三 一十二四一。 一十二一。 一十二

軍務局を分割して

兵務局を新設

各局課の人事を悉く人事局に統合

官制の改正骨子

胃臓感止を危値しかねてより敵一様たので傷機院の循路線を終、東京協商)陸軍では陸軍中央部「発立衆中のところいよく)原案

從來の司法制度を

大改正

親在班で構成)は今回官制改正に を便互なりとぶめた結果である、 振麟たる軍事制容部(新開班及び)立場に、一方子之を一元化すること(東京出語)陸重省唯一の管制外 開班との謝認の如く分離されたる

一工商工の目別部、西南間部部、直接の完全なる中央統制と十二月、どは近くるものといはれるが鍛設を得って回収、総を得て総市される
 「上海」工四日周部、西南間部部、直接の完全なる中央統制と十二月、どは近くるものといはれるが鍛設

わが方、會議の推移を凝視

3の叫頭を分雅し且つ軍事限を二分して軍務課とおいてその度があしいので軍務局より兵勢、「おいてその度があしいので軍務局より兵勢、「軍の幾初が非常に臨礼多岐複雜となり特に軍

物助脈に瓜母脳と密接な肺線を有、染顔切り形を得次いで同人年十一小脈に同膀螺紋などを管集する軍、委践師を認証、初代委戯長に故非別の薬跡は唯一びこれと新門班とを以て服都調金授の薬跡が側部とれるに及班の薬跡が側部とれるに及班の薬跡が側部とれるに及近の薬跡が側部とれるに及びの薬跡が側部とれるに及びの薬跡が側部とれるに及びの薬跡が側部とれるに及びの薬跡が側部とれるに及びの薬跡が側部となり越えて明和 通りは脈外機蹦として軍務局内に「リア事場當時の大正八年で初代扱」より驟止せられ新聞班のみが旋來「なは新聞班の訓説されたのはシベ

軍事場と軍事制食部における新一至つたものである

町後して微々戯目に架すりつ、あ 「売け水意」「毎日服備の共産業」 子文氏は下前に省所観彩版人は相 玉峠もの他の街上路碗より起居の長を初め電線各方面の駅人及び窓 るものであるが、風吹鳴談では汚り

などにつき提案及びあらゆる政府

帝國満を持す

なる抗日決急支示な「塵として日常質商品明を期待しこ」領事に議由、交渉出明に對し

政府首組ライオンズ氏は現狀を並、団に属する訓令を可井シドニー總(メルボルン二十三百同盟)豪州、れを慰表したが帝國政府は交渉に

具體案提示を要求

個民政府今後の對外對内語方策を

解立を主眼とする場内問題に存す

回の国防空職の内容は右の如く對 とするものだといはれる、即ち今

そうるものだといけれる、即う今 「軌道に乗りかけた隔層船隊の副艦」

首相に設告

君郎に四田首相を訪問、既府の一般三比は二十四日午後二時二十 東京電話] 政友館の西田、畑切 | 青島町に答く更に今次の取引所立 一郎伊 正記版につきが見の交換を行

と好な的希望を開陳し同四十分が

白三國代表は次の共同コンミ自三國代表は時十五分、兵師衛職長午後七時十五分、兵師衛職長午後七時十五分、兵師

ルノ銀備資源は計造二時間の「ロンドン廿二日同盟」ロカ

獲 伊

兩國に參加

沿盖門

ユニケを観表した

| 「日本学校の「日本学校」」 | 「日本学校」 | 「

でも完全に意見一致した、三陸一致したばかりでなく気持の上

|歌|| てゐるが、フランス、スペイン南 し異常に無惑しロンドン熟趣と歌|| 顕似の臓立する場合は暗中帯上の「その遺滅につき感起り交換を歌|| 顕微を通じてイギリス配析と歌|| てゐるが、フランス、スペイン南 し異常に無惑しロンドン熟趣 伊は異常に緊張す

測費ドック社長参列の下に進水式

正式受諾 ンドン氏

施政方針闡明

大衆を置し置山に来った器西省主」に対し築地政府の対策は一面日帝一般本代態理を決定するにあらざれ | 寶商昭成を監察してゐる事質は監 | ば別途に

明鮮電力/総合

(代) (では、) (では

土要海軍國の |近期を非確とする時間的| して運出過期の具面を提示を要求

なと帰

加く証に、最重な増買の件は左の

仕跡を命ず 住跡を命ず 康

を発す (東京武治)

一、各部門各局親に職保する人事 ので二十四日年前人時より撤割上を表く人事院に統合す、更に教 す。人母最に統合す、更に教 す。人母最などを哲奪する規制 ックにて降りしきる網を働いてシ 事が入事院に統合する規制 ックにて降りしきる網を働いてシ する。

ックにて降りしきる雨を衝いてシー表し次の如き施設方針を開切した

氏は廿三日午後九時共和家大統領

護補指名を正式に受話した、ラン

政府國历

【釜山池前】新伝の山田郷首局長 京城に

一度の

16

の後仰霊巌温泉に一泊、廿五日明 正時生態「のぞみ」で京城に赴伝 5巻中上壁、海事 屋出版所で体型 は家族同伴廿四日夕人世の連絡胎 でこれからみつちり勉強せればでこれからみつちり勉強せいて来たの とびも組成卵が近づいて来たの ででは、というでは、明年度 では、というでは、明年度 では、というでは、明年度 ででは、というでは、明年度

殖銀副頭取 渡邊陥幸氏か

の件を来る八月十五日の定時調館され、雑飯では石に伴ふ定款返史 **決定したが、右敗正令は近く公布 | 許蔵二〇組五(4)中敗正令は二十四日の経験に於て | 佃児四組五 三利加線の副頭取扱道に闘する連乗令 | 四パルブ工業一**

先 45.00 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 新後期別 大石 は、ソヴエート人間の自然站収



既べるだけ

加となり肉となります

調味噌好菜瓷一〇〇爿 消化吸收率九九・八%

ピタミンAの塊

御注意が肝要

はこと更に健康に

を召し上がれ、夏

皆様方の健康のた

めにもつとバター

つもりである、した上で観点に、航空に成ては全く白に成ては全く白いた。

バターは こんなに良いもの

パター一封度は 牛乳七升から出来

約割的な業者品です

お弱い方やお兄様方には

「関連型により関係平和の強化を設定しより関係で和の強化を設定した。 対・九日の取扱め三月三十 日のヒトラー製版の平和 地域の結果広の組織に列進した。 関連の結果なの組織に列進した。 はいて資間を選げ、去る三 のという。対域の平和 はいて資間を選げ、よる三 のという。対域の平和 はいて資間を選げ、という。

紀果は満足王極道語

首相語る

慰しなかつたといはれる、既にブ

南東 北西

夕刊後の市况

では、何れならの世界である。 をはじめ、何れならの世界である。 本はい、でも、『原物本学事、 では、のでは、『原物本学事、 では、のでは、『原物本学事、 では、のでは、『原物本学事、 では、のでは、『原物本学事、 では、『のであるでオルガ 職海、北コーカサスは▲東部院 でかその作物に原生が大の被略の が少けてるたが▲駅に対してるたが、 を受けてるたが▲駅に対してるたが、 東部境が観に一大級が地帯を建 でしたったりへ既に、想定の記検 が、かつ、大河中、部に、現り出す こと、たり▲既に、想定の記検 地帯内部に大野水神・異五千エ 地帯内部に大野水神・異五千エ 用態を続けても第二の人口太陽 四十一九三七年 んであるといふ

佛西共助



南海に亂れ飛ぶ豆飛行機

一葉異の窓を抱かざるものはない。



尾の顱下で水を打つことに依つて速力を得る(4) 4の館下で水を打つことに吹つて並力を得る(4)尾の態を繋げることに吹つて完全に健康(5)挿繪説明 (1)眉んだ館で水面近く突織(2)水炎面に突進してから鱈を繋げる(3)

して来てゐるから、この點は舒來

《右上隅】 撤艇力は唯屋の館の急跳なばた~~に吹つての滑走ぶり(6)滑走終つて再び水に入る、飛翔時間半分 へることに使つて潰走を延長する(左下の下)疑葛等天候の異態は彼等の資産に點はぬ災症を融く右下隅)撤簸力は唯財の鶴の急遽なばた~~に使つてのみ間らる(右下端の上)跛から踏ねか

ふれ」に緊組み、干島別島を右一番したことがあつた 根室から百二十トンの『えと

てきて太陽がしだいにほやけは コンと締めつけて、その都度小 御鯨船のサイトをなぐりつける 脳関の やうな しなやかさがあ と見るまに、一面に白く毛ばた ホーック海は、陸で武漢して

はまつたく彫口する。船はからな 海のまん中をうろつくのである。

こと、ファー・ハー・マッツで、一般はなかく一見つからなかった。 天にして母認が流ひ、火鯨たちはにて見る。からしてかれらはして見る。 深遠はグッと下つて内地・鯨群は必ず狼鯨蛇である。 彼らは「その関節をぐるくしとビケの役をにして姫雄島の神から針路を北へ」「鯨はなかく」見つからなかった。 天にして母認が流ひ、火鯨たちはにして姫雄島の神から針路を北へ」「鯨はなかく」見つからなかった。 天にして母認が流ひ、火鯨たちは **はつた 「「選)を発送し、すばらしい予酷(般人①メートルぐらあの競标になっ、こましくて任みにくい助が浮き唇の色がうすむらさきに ートでは五ケ年歌歌でアコ(顕常)船はしのびやかに近づいて行く、」る、こんどは電だ。どうらだ、ジヤケワを重ねてあるが島 「に弾ふて齎下して来るが、ソザニ」 一干選の底をするのである。 脚踝 「霙は交響へ行かうと転** ラデオのスイッチをひねつてゐる ターナショナルの音楽が開え、亢 一干温の底をするのである。加幌のとめてゐる。からしてかれらは 職能をしてゐた てゐて、母船と飛行機とラデオで

ルトで蘇も出す低発力がかのせ一だち、茜白に築まって、三十分にど 鰓をはじめてみつけたのは十七一里かれて掘るのを得つ、配手は以 はるかに見たが、デッキにカタバ **| 実は一度海の中でアコの脂原船を本の個人資本では当然できない。**

中へ遊れやうともがき、深面に沿っいてゐる。命中すると、縁に深 似してしまつた。日本人の原院ののごろでは船ど日本人が投棄を買

日目であつた。水平概念子師を中一前にはノルニュ人であつたが、。

は六百メートルあまりのローブが

ある日

第三話 汝の館しを得ば、我れ注いて主住

あります。日々、五百人の弟子を一て贯即せざるなしといふ大型匠で 理は勿論、算整照物、悉く了知し

> 迦さまは、大器三味に依つて派 神賊の強す所でありました。お釋

手を舐めて、熟々、世尊のお願を

のが翻脱された、ありとあらゆる 密航三九一人

おいて観賞すべきであって、間に

と信仰が拠まった。しかも、その

定した、麒麟健園の所有者である。

過ぎず、なほ惡くべきことには、 |までタッタ三日間の欠動をしたに| 題は、十五歳より四十五歳の今日 も質に稀な邪息である、カメロン 始人で、三十年の別称は、世紀に 便配置三十年の亜麻質を得たが、

数据³ 型犬、関徳、正綸、夏人 して上帝に招である。天に励かせ数理。仁義(一理) の主密書を上帝といふ。天に励かせままな(一理)

等天敬の敬義は、一理、四綱、 | を發すの第一義論である。 天とは

驚くべき發展振り

六百英と配するまでに述った。

一瞬の徒であつたことを動態されの

とで解る。つまるところ、信仰一

普天教の教義と

全北ところぐく

池田

林儀

一競と云ひ、仁遊と敬天とをそ

道の大語であつて、

天地の生成化

自鉱に書き、壁に貼り、髪り終の るや火焼せしめたもので、本部を 変しの登場に表現されてゐる三。 光能がそれである 聖天敬の呪文は、呼哆政の呪文 と同様「呼哆呼哆太乙天上元君 と同様「呼哆呼哆太乙天上元君 と同様「呼哆呼哆太乙天上元君

これらの数字が架写とはいひ得な

人配達夫 このほど、歌

世との連絡の便宜がます!

「張龍門よ、心勢するを襲せす、一たのだ、しかるに復れにます

出ることができません。ワイに形

今では猫も拍子も、なと名のつく が死にましたカールの元祖

容上の價値を認見した男が六月五一百九十一人の密転者が乗つてるた ものばかりでなく、男主で野毛を 日死んだ、ファンソア・マルセル 人間の襲毛をカールさせるとの突 支那のスワトウからシアムのバン

心物出攻、ひか

置えたノ? 教へてヨノ

に、あんたのお肌素酸に綺麗に

「まあしばらく會はないうち

話

なつたのネ、どこでそんな秘訣

吹出物もとたんに解消です

ですつて?それで日ヤケも、 レートクレームを使ってる丈け

つてクレ

〈日活のヤンテヤ型 久原螺と高松螺)

派化朗明ぬれ崩心。 からちつとも崩れず、キレイで、 とても汗つかきで、暑くなると すつかり満足してますの!」 すもの――レートを使ひ初めて 化粧崩れがして困つて居たんで というか

「ウンノ もち、だつてあたし

「オヤー やつばりあんたも

話



Ξ

(日话の明朗型 野紗ちゃんとはるみちゃん)

のところ、ふるひつき度い程を マンないウー 褶から拭け出た様だソー 「アラツ、素敵ネ、歌麿の浮世 「決つてるぢやないの! 「自紛は?」 あんただつてそのきれいな裕

デヤ二人共の・氏ね」 あんたも/

(日活の娘型 田村さんと和歓浦さん)

水脈神脈の脈す脈な脈れ

|前野頭として一夜伯りのお客で服はふだらう(郊頂は音仙殿)

ばそこには一丈五尺の飛気が水品のしようをとばしてゐる壯観はまさに破除萬斛、近く京等郷道でも開進すれば京城

キロ京都側道を加平に向よ途中にあり、数十丈の屹立した影響の門をくとつて神妙的な職会

----登仙瀑の壯觀

野を指摘、戸肺筋粒運動展上を申一午後四時締切ったが有極者敷四百 M | 辛うじて定銭八名を撰立 | 合せたよめ徴風もない服寂理に享 職は各立候補者が理念選一士二日小學校課堂で投票を行ひ、

異に関カー致至武奉公を尋用に誓

もつて益々国連の隆島を祈願す

【清津】清津地方法院の振楽は本

備の工事にからつた に開放すべく二下一日から原明設

【度異】府登プールは夜間も一

田縁の古都に

逸品の陳列に期待

平壌博物館で開催

夜間解放

清津法院增築

忘れてはなら

行政區域の擴張に對して

軍部首腦者も反對

からの豫定で相當の藝術品が多数

春川 二十三日午前九時祭知

| 成興プール

学工事の顛回に進捗

殿が展戦した事他はこのほど吉林

阪出弧所で臨時様主總質を開催取ことに決定したので來る三十日大

であるのと思いれてある。 然に 高り原語代は佛教の金潔時代でまったためすばらしい歌語が近られ 火災 て が へったためすばらしい歌語が近られ 火災 て が へ 来期までの毎度展製質を開催する く職的するところによれば前野盗奴の概束した高均量切割からず高。歌調なを遂げた上質行に終るらし家に非常なる人類を関して大處功。 野獣に襲か現地泉を散離し、頭に多れの作気が現地に出まれる人類を関して大處功。 野獣に撃か現地泉を散離し、頭にない。 大阪中央部でも機構処正の重に非常なる人類を関します。 なったが中央部でも機構処正の重 てあるが趙胤和日は来る八月中に「紀漢力が撤録なため市職實施は接てあるが趙胤和日は来る八月中に「紀漢」ではが北韓を遣め、「八の三都市(延善・闘門・胤井)は「本興等での尊進」をいる。 **稲役一名遊録脳に定数の観史等に**

を視案の上午後四時職成した時年部館出設、西内関業得習所時上整察省員を郡曾議当に集館員と整察省員を郡曾議当に集館員と整察省員を郡曾議当に集

地下水を引用 この早天を利 沙里院の新計畫

解某方に寄宿中 であるのを憤慨 であるのを憤慨 であるのを憤慨 であるのを憤慨

変像や際、足腕引つり立たす、更行限能、音中の大利高くなる。 をクサリ線の出る、解説で感染の人々に内脈して強縮するに対の上部隙の出る、解説で感染の人々に内脈して強縮する。解説であるれば中語が指する。解析して強縮するに対して対象します。の原生の疑問であれば中語が指する。解析と呼ば脱ぶします。原生の表現が行いて対象します。

「原葉県へからいて対象します。」
「原理学を代的にて対象します。」
「原理学を代的にて対象します。」
「原理学を代的にて対象します。」
「原理学を代的にて対象します。」
「原理学の代的にて対象します。」
「原理学の代的にて対象します。」
「原理学の代的にて対象します。」
「原理学の代的に対象します。」
「原理学の代的、原理学の代表」
「原理学の代表」
「原理学

高醫生兵党見學

振角発備の自動車ボンブの機能を「配役は月末の改是で、上京用代は 【沙里院】平月でさへ用水不足で「胃酸列車で京城部由東京へ向った 分震抑することの出来ない沙里、私事賦行といつてゐるが微貼入り

方面に行く途中を本夫の複食別なる女兒を伴れ無断家出し参山なる女兒を伴れ無断家出し参山なる女兒を伴れ無断家出し参山

連れ戻された

良禁

の仕様似に等を糸井上木管原主位。用を給て直ちにこれに駆する一切「所を踏在、沙里院川の地下水引 州を視察

は新一港の石曜

般貨客は羅津を中心に

清雄は木材輸出港

松鳳如氏當選、新寶頭福長端に就

【威異】八月十五日から一温間東

威南の出品

内者の計畫 - 體化

観光朝鮮展

し工事を完成すべく配徴してゐ一世したるべく河水孤湖時を利 時自動車で坡州郡初度配線のため 【文山】安井京殿道知事は佐々木

湖の配に向ふ途印利原で引戻し郷の楽逝行としゃれ込んでし郷の楽逝行としゃれ込んで向れま假名=は十七日無断索[2数金所斗辞質の棘玉闌(1+)]

では、ここのの をしいうとの、 本点、 をしいうというというでは、 をしいうというというというでは、 をしいうだい時がはあるには、 をしいうでは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をしいうではのは、 をでした。 をでし

大阪市立らを松町三一館山尾殿府店で大阪市立らを松町三一館山尾殿府店で大野社会では、大阪市社会では、大阪市社会では、大阪市立の名が料理に出

せきうる病

第呈します 長田縣明石市右手線町 元十年 (東京) 大田・田原町 では、東京の大田・田原町である市内原をおれて、東京の大田・田原町である市内原をおれて、東京の大田・田原町である。 「東京・田原町では、 東京・田原町である。 「東京・田原町では、東京・田原町である。」 「東京・田原町では、東京・田原町である。」 「東京・田原町である。」 「東京・田原町である。」」 「東京・田原町である。」」 「東京・田原町では、東京・田原町ではままりでは、田原町ではままりでは、田原町では原原町では、田原町では、田原町ではの東町では、田原町では、田原町では、田原町では、田原町では、田原町ではの東町ではの東町ではの東町ではの東町では、田原町ではのはのは

ので河川敷地管理者たる土

江中に配便を派してゐることが「は一様すべく國献中である」と、赤胸らしい鬼種が蛩名概年。の二十五六年も本年結次明堂でに「見」、「一

水流調査に出かけ 不慮の災難に遭ふ

後四時半ころ號途についたが貧難|新洲市で記録を提定・緩縮の上一種で渡野場附近の認証に出かけ年|井|日午・安一時に至り四里下済の によつて影響人者の取簿に支続を「かま行し、下流に興、雄・豊西水籠年の流れが言り、江岸の曲形骸化」は今飜野兵、佐藤延廰出張野長らが成成風吹。こ 在紙 三明層には豆繭「胸に次十年名が出場」 原業書から 不了ので去る十九日午則九時から

一斉者にも手信して担望の結果がく 優重] 威北太臭な[編出張明女曲] 大騒ぎとなり、承良指征所はや自

江原道産業の前途は洋々

これところ、歴史の方々が輝つてを いから別様でしてみようと性語されたので近き でいれるなれば 一つ眞面月に 研究 けいれるなれたので近き でいかがった。 西に近り

一番成績の良い

訓

二乾電池

施してゐるが今年は小妻不作のた。 他のため飯年前から小妻実販を解 「長編」都長館では農家の祇利禮

山に住宅を経済された言語 由に住宅を経費されたき質問題し、以に個氏所有の遊立路院间ロシア

地田の歌が

返返

東西郊外に機敏な手廻る

港都の膨脹新現象

經濟力薄弱のため

街制に落着く模様

金棒の温味

があり、これ等の際染彩統は前記 一を命じたものく立退的なしでは移

問部語にアー五個を取取へず立退かしめ、暖節

あり今回の殉職も職務との責任「江原道禁邪節道に毎川送では去る。 を随には夫人をも頭これ 一 武道 土用 稽古 「舒川」 なが、を随には夫人をも頭これ 一 起道 土用 稽古 「舒川」 をからを一般から楷まれてゐる 郷所後となり、推進院前路で上 尿春鐵道の實現は

バ赤痢菌を邑内に撒きちらす

悪山鎭河川敷地上の

名)先づ質頭選続を行ひ上上記で 總国を開催、出版十八名(熊殿 は 原語 事語で過酸 放置した 商語の 初 に 関域 二十三日午後一時から 所

開城商議役

たことにはは近の物人物はこの一口重大原館なりで近く整緒、四、 このるが一向に去らず、更に困 二ヶ所の非戸とみられ、遅ておけ

渚の直下にある二ヶ所の井戸水 | 土木が端力し、まつ井戸 粉虹の四

喜びの孫知事語る

米港鎭南浦に反對の奇現象 「藤東浦」當地より要表演を注て「韓く自然のことであつて西部土地」は赤政流をが如き生動級に迎はれた歴史は到る平安産選្に選近」の「海と対に歴史集部・田門」の第7個く鎮底)人類の人間にない。「東京本社の「本また著しいもので非年」田門」の第7個く鎮底)人類の人間にない。「東京本社の野で、同縣資本館の「本また著しいもので非年」田門」の歌みをかけてゐたが認正認確してあって西部土地」は赤政流をが如き生動級に迎はれていた。 一般面と内促した模様であるとの一てある、これは産業態道形はと一

面に大成就産の瞬间附近の土地即

一日午前一時頃酒の元宗をかり朝

四十年と決定、年七十銭乃至二冊 法が生まれかの裏山一萬一千五百

一型回の湯定で江陵、三郎、隋 ▲商升齊祭部長(咸北道)上城中

L江曜」航空無電局の戯地は色内

敷地决定す

(同) 威勢から同

元 贈し ニー

朝日電池ラ

段 计一旦编

って抵倒してゐるのを家人が確に

親子連れ温

珍らしやお米の移入

蓬萊米北海道産を陸揚げ

肌へ、や上落ち若き加減であった

ドラ息子に

咽喉を突く

竹内知事東上

とた竹四威北知事は島山官房主事 / ノニ十六日の月曜日と決定、墨[鏖曹] 東五宮駅水電人りと位定 (船の「墓子連れ温泉デー」はいよ

『演津』ビューロー清津案内所主

合(出張、月末) 同上 (原道漁師) 同上 (原道漁師理事)

兵庫新明石市東戎町

堂

世間へ

一二日安井知耶

鄭門專料眼

司法官の麻

加元品で和東政能に 有法部を設定を受けた。

「長端」安井知事は 長湍を視察 あつて午前十 け儲の円

が一角でである。

一時半宮民多數見窓りを受け、北

野み

ŧ

チフス内服豫防藥

で問題
となる

一の除外例に惑はず

安心して服用せよ

用していくと思ふ

金殿蔵に執行した 時中から極深署で第二十節関司会

公療者を一づれも緊張し成績良好であつた

婦人の内職

二の除外例に惑はず

開富局と協力し段地令の趣言周

作財職は却つて微増し、又野職の一点を慰認することとなり本月末後、別職師に努力を配けてゐるが、小一る意城、定東方面に八留米井の武一 わけで、婚女子の辞剰努力の生産

は畢竟法令の趣言がおだめ知欲に

使用料を横領

病州市場の

辭表を提出した 管理者の身邊危 も陥穽りであるが と折断の段取り 松本観査を行つ

買收費で大揉め

水原市場のご難續く

影解質を明能したが程上、品語

好部合の路雨

ろ歴近に至り賦乎たる討場が思れて署で厳重内質を置けてゐたとこ

女子養蠶教

|清州越崎城したが、これを礎と上、しその代金二十二国四十萬の収入 | 瞬間在が致命館に「海の上二十三日午後三時半 | 均成鑑賞鑑| 皮盆り枝七貫を収録| を開催するこ

禮驛一板ばさ

驛名が氣に食はわ、ウンに お隣同士芸

> ナフス内服豫防藥 州で問題
> となる

安心して服用せよ

用していゝと思ふ 用していゝと思ふ

れねであら

優良種豚

を購入し各は本年度の 配付

をはかるこ

今度は敷地の 買收費で大揉

になったが健康一頭平均五十回

三十四万

農地令講

習

忠北で行ふ

額に伊ふ像祭里正のため二十七日 窓観頭を明伽したが職上、 【水原】日は南市場製油買収置均一署との交渉が離たもので二十二 水原市場のご難續で

便職者も多数あつた模様で二しての責任上絶對反回をよへ

建設の第一歩

大邱飛行場

總ての手續きも完了し

間として華た、服命と建物に対をつけ間勝を 々しくデビ 機せぬやらにと海衛生係では臨ん でゐる 清州稅務署

対照がのため71十1日東浦・南州 に電子(養質庁取ら三十旅庁の平 | 茶を醸師に指版「清州」古田京域部施設者を置く、歴史においている。 「清州」古田京域部施設者局長は「臨海宣領管法である理例施行の結 るべく既に認識した。 (正新州) 道では今春の報宮州に選ぶ の仮範談宮地域 古庄| | 「古庄| | 「古庄| | 「古庄| | 「京州」道では今春の報宮州に選ぶ の仮範談宮地域

に搭札した を放して歌い

下府内の際 が跳梁

つた二つのブールは認ち手を洗ふやうな観光戦なのある郊外は家から楽し出された人々で午前二年ま一日』然もは閲覧に近後、また人一片前度の支勢出場に化し、十二両府民の遊解所である軍、西た

[、甲] 鷲神は颱星一過後、またく、自様度の勃然地歌と化し、十二萬府民の避難所である東、

凉(を)、水(め)、て)

マープールは満員

開體合同で

古し国家の

を設置に執行した。

版には約一割の破さあるが、赤和 に分野を煮起するに至った、同職 が起り膨胀各質局へ既名と臨り 、海川・丁五名、股チッス十七名 「宋龍」月下戦」を急いである戦 は超大型を取る、選払終十一名、チブチリア、全北部縦は今秋十一月間通の策定 あるが既に際名は関形自の名を取る、選払終十一名、チブチリア、全北部縦は今秋十一月間通の策定 あるが既に際名は関形自の名を取る。選払終十一名、チブチリア、全北部縦は今秋十一月間通の策定 あるが既に際名は関形自の名を取る。選払終十一名、アブテリア、全北部縦は今秋十一月間通の策定 求禮驛」板ばさ 驛名が氣に食はわ、ウンに お隣同士江

現ナマ収入の 人留米絣

婦人の内職

の郷い新興副業として概義地であ「長部に古田高長(大邱)殿北道では今世収金数人「有志李熙佚氏の 会の新築促進速

公職者を一づれも緊張し成績良好であつた

「招聘し海州、永同、柳山、陰城」くはこの染色を道内で行ひ更にこ

全部断弾を開賦することになつた。る計戦で大いに射着されてある思州の五ヶ所で八、九月中に農地。の副業を慶北の新興産業たらしめ 清州市場の

ろ極近に至り賦予たる部様が埋れ (清州) 市場・管理事物を東接っした、たほその東院金融に指言が てある駅には過去数年間に亘り前、高に上るものと見られて立り計構 単便用料を観訳出版したとの疑い が応まれてゐる 使用料を横領か 辭表を提出した 管理者の身邊危し 釜山驛長送迎宴 肥水川の複雑面 選すべくその軽 も略定すし近く と折断の敗取り 楽別記の天水水 非本観红を行つ

に動では各たが、関助は「十二日確義を提出」の行権轉後の数法連合を開催した。 大ので同助を喚励するまでに至っ に築物した審出事を再発と 独仏の振進令が、たので同助を喚励するまでに至っ に築物した審出事を再発と 独仏の正常の に乗して (三十二十年) 第二様様記者 歯げ出こ日 れないが水利の 好部合の陸雨

整地工事に掛る 一谷や比較的水温 の修理保存費は他で渡水魚の浴を記願させて楽 次につき西郷の案で地主も小作 を選定し貯水池 作りその後は きは附近の天

をもつてゐま が立體してゐ が立體してゐ

養蠶粕飼 女子養蠶教

清州經過域したが、これを概とし、しその代金二十一回四十時の収入 蘇脱圧が公節で船に一派の上二十三日午後三時半 均総鑑賞鑑一枚當り減七頁を祝過 を朗配すること

国際を指型することとなったが、 しての関係上部対反対を派へ 原門 当は阿司斯縣諸規執責者 名との交換が厳たもので二十二人東京 当は阿司斯縣諸規執責者 名との交換が厳たもので二十 十年度の買收費の選算額は四千五 種職者も多數あった模様でニナモ色質を指集することとなったが、 しての関係上純難反対を、へる強

現状を完了

慶全北部線の新驛

郷ての手續きも完了

繁純は壁の衛生師を一起間めるべ の如きは殺大期の闘増を示し所、

撒せのやらにと前前生館では監ん 安東西工権頭、立町・柳の駒道窟で

「清州」古出京城場では常局長は、江西町は長、町で活め、町で活め、北下 初巡視のため二十二日来清、清州

つた二つのブールは歌も手を洗ふやうな難驚眈なのある郊外は家から深し出された人々で午間二年まて、印1総かは颱風一造後、また~一首能度の均総地歌』とし、十二萬程政の歌響所である東、西た

凉(を)水

8

7

マープールは満員

フス一名、綬珍チフスニナ五名、腸チフス十七名 二十三百瓶在、府内の際 赤痢が跳梁

橋馬

谷越 農藥 學 學

博博

製製

士士<u></u> 監創

Nature's richest source

of Vitamin B Complex.

報

を充分强めることが肝要です。 ない人や、 おいても先づ胃腸を丈夫にして、夏の病氣に對する抵抗力 痢、旋痢、チブスなどに感染され易くなります。内に溜つた不消化残渣が醱酵腐敗して腸の加答兒を起します。内に溜つた不消化残渣が醱酵腐敗して腸の加答兒を起します。さなくとも夏は食慾が衰へます。 (4.0) 何を 赤。腸

强健で

作用により胃腸の組織を丈夫にして、消化液をタップリ分エビオス錠は强力ヴイタミンB複含體と各種酵素との協同 ずに早く體外に排出させる作用があります。 泌させ、 食物を早く榮養化し、 国見物をこわさないやう 不消化殘渣を腸内に滯らさ

力が來る

知の事實です。スポージマン、筋肉勞働者、知の事實です。スポージマン、筋肉勞働者、り、それが原因で疲勞がひどくなることは問り、それが原因で疲勞がひどくなることは問り、それが原因で疲労がひどくなることは対して 夏の激しい勢働や、 筋肉。或は粘心の過勢は

() やう

> る特殊作用があります。 ・などの複合體は、健选工程/ 中に自然に酵母細胞に吸蓋す/ 中に自然に酵母細胞に吸蓋す/ が混んされて居ない純國産での低い雑酵母や輸入酵母など で最初から純薬用に製出されして、吾が國最大の麥酒會献 エビオスは、この作用を利用 あるのが特長です。 た純正の麥酒酵母です。効力

滅は遅れますが、食慾減退の主要原因がヴィ度が一層激しくなり、延いて體力は衰へ、治す。況して、病床に起脉される方は、その程す。況して、病床に起脉される方は、その程 タミンB複合體の缺乏にあることが明かにな 健康人ですら、夏は食慾が衰へがちのもので り、この成分の濃厚なエビオス錠が食慾不進 が減ら ないやう

3ンミタィヴ カ强

奥へるやうな夏季の胃腸病は、多くヴィタミ消化不良、疫痢、その他小兒の生命に危険を ンB複合體の缺乏によると謂はれ、その治療 ます。胃腸の丈夫でない兒童には、豫防的に にはいつも大量のヴイタミンB劑が投興され 毎食後忘れずこの成分の濃厚なエビオス錠を 樂として飲かさないやう。

大病院では必ず麥酒酵母をノ

後にエビオス錠を缺かせないわけ

の持築としていつも重要がられます。

激務家等が特に夏の疲劳防止の持難として食

成分を濃厚に含有して居ると言ふこと 中、麥酒酵母だけが拔んでくこの貴重 さるべきものであり又、多種ある解母 B複合體の多いか寒いかによつて決定は、その中に含まれてをるヴィタミン 楚養學上の踏研究により酵母劑の良舌 はつきりと判り 一勢力の點から

が選定されてをります。 は酵母劑と言へばいつも麥酒酵母のみ 事質、大學病院を始め全國の大病院で

けは麥酒會社の製品を選ばれるやう。類似劑には供給されません。酢が南たないません。酢が南たれません。酢が南たいません。酢が南たいの原料として消費され、他の

東京田邊商店あて御請求次第送量します。東京田邊商店あて御請求次第送量します。と題する小冊子及びエピオス鏡見本は下記と題する小冊子及びエピオス鏡見本は下記

東京市日 生ピス・アッと ・サツボロ・ユニよン諸語職造元 医型 **本模區 本町** 株式會社 絑 大日本麥酒 會社 H 田邊五兵衞商店 田邊元三郎商店本麥酒株式 會社

【□○○錠……・四圓八十錢

ER 59

矢繼早やな三つの强盗事件を繞つて

事、炉川委員、河野理事、後援 田事業部長等が加にり また全割鮮葛属物盟から山澤理 の京城月散社から高川主軍、 意氣に燃えて突進

自動車性能試験場を

尿総道に

はじめての試み、

近く開所式を行ふ

平南にも設置

資寫眞打合 きのふ各方面の關係者會合

たつたかくてこの空间の大事業

犯罪の巢・孔德町

此主派一の本部隊として京城縣から廿三日 城大班及齒科醫專班みごと成功 般本隊は赴戰湖畔

最後、戦危殿に乗り込んで樂しいキャン ゚し、一旦転破路版宝で引き揚げて | 平北照川側から狐が山脈関形の密 | 物一ヶ月に直づて咸北の襲倒をワー の山田部はの猛者ら十数名は併歴 の歳女地の踏兵登局に無事成功 | プ生活がほじまつた、これより先 | キャンプ 胎整備のため人夫を質し

の第二番隊として出転した官 った、さらに本社のキャンプの館 して活動、最後の本脈の到着を行

| 住々知識は本版より数目前に出穂| 民館で属す| 大锋科教授、昆虫研究の講師原中・比較の植物型の評師である竹中城

講師先着

機に、臨道の趣言を聞き、整接を

質師洋海道の一異彩、八木彩霞渦 廿六日府民舘

望月君も参加

その他職館者ら割合職を買行上の 協議を発げた、席上帰田文書源長 リンに向つた函標オリンピック委

土地を項に利用後来さん一名を供数ヶ月前楊州郡にある他人所有の

護島で短貨の會

図永囲さん(こ)が暖かけて夕間 廿三日午後八時。驻京城三坂通常鹏

納凉中の奇禍

女を躍らせ

者にして一千五百回を詐欺、行方 コンクールが はされる

他で発道二週間の重切

鍾路與太者具

女中 二三名羊 人

特別爭以

求事務所向住宅 家賃五十圓位にして住 宅棄用の事務所ある貸

内二十四番古市まで

敗正し、主として現行ダイヤの中 の新設能に延長列車を基本にして

が、廿三日第八四分五圓五十錢を

嘉納翁きの

ふ伯林入り

利用し、他上陸店前の副紅に乗り で発送調で中であるが ・ などの詳細な調査を行ひ ・ などの詳細な調査の細密な数字を得る ・ などの詳細な調査を行ひ

めての就みで、河所には脳即機、

京治 0000-00

湖南は光州中學

戦し光中俊勝し湖南代表となっは比四日光州で幕行四人對三の 大団也0000000000

間宮離洲

島太道に假治中去る二十二日後来

公告

刚鲜泉有业首城

滋補保

飲養血溫

ソース本館

艘越後屋

女店の別家年齢十五歳より大時まで来店のお手派で訪問を開発していた。

Ħ

京田茶内

強補

精 Ш

如何ナル汚水ヲモ征伏セリ數年ノ經滅ハ

建げて廿四日帰依と統殿の岬| ▲京地釜山浦 紙軽は一往復、本小原別和職長が大連で打合| の大駅は

日から関胞する際道一作製を急いてあるが、即項の通り 既正に止める質である既正ダイヤ秋に實現する認向で今回は消極的 内部南ダイヤの根木的敗正は明年 ・現在の釜山、安東間の第九、・現在の釜山、安東間の第九、

貨物の急行列車も一往復

十二月から新ダイ

ナ月頃から異廊される模様である土列車の奉天直迎だけは一足元に

八年一月から採月一圓三ヶ年鑑記 ▲黄海道銀二浦梅山三平氏は昭和

急行貨物列車一往 では郷軍制立の廿五間年記念の際 献金美談

毎日一銭三ヶ年編団献金を開始しら第二次制設として家族一人に附

先づ現狀を調査し

その指導方針の確立を関す

密集場 ・ 関節版、規率機翻署よび大撃

三日極高峰麓の停船平安丸でベルーおける上

二千戸を選 んで遺跡の

東大野球 4 金

西班货03033[0

過池洗滌中

ノ鉄態

事 務 電本長3959

光州

寫頁

八機能能

林 工 業 京城府本町一旭ビル

施工鮮

工三十二ヶ所業會社,獨山會社內 各府區上を道

けふの天氣

只会製作中ノ分 浦 項 邑 上 水

道

殿

御一報次第設計書型錄進呈

最近完成ノ分

朝鮮大豆化學株式會社殿

邢那故は二千人百七十代、この内 いっ文字辿りの交通地域である。 た織動質を出来るだけ契くする副 瀬田によれば、昭和十年度の自動。の考頭により、事故物質は五倍と してゐる、そこで解物局では無事故願止に究めてゐるが、繋跡局。ると元亡詩の釋け或く勿れ続于皓 ば恋と、地縁の不完全などを例

な観制要を出来るだけ少くする目してゐる、そこで無務局では無難

主なへ原因は服の死

満洲の重力測定

ろしい陰 最を吹きこまれて、取しまった」という。

殿建正子神戸出れの際がれて南北の助手と共に二十四日午前九時京都 【神戸電話』 夏郎帝大理祭御長樫 | 図に向つた 土は京都帝大理な部及文 出新一郎鄙師、古谷正人 段館の五ケ年計戦たる

鮮満ダイヤ 改正は來年秋

貨物運賃統一

指手累拾(12手) 指要時間

★☆十十分間

曲か一四步の受新手法續出の前奏

龍

今回は運搬連勝の島本頭・四及 遊ば証しも苦しむとこを「宣に際版しる盤を得、深深神 田のなられたこともあするばかりの市川四段 駅離児 盤 用のなられたこともあっての歌が風寒と歌けれて込る 論而には手通れとなら、50電敵を迎へ前で 縦打されよを守ったも 数利されよを守ったも 数利されまをすったも

を位を認る作戦もあるが、此の 歩と位を認る作戦もあるが、此の

少と位を張る作戦もあるが、此の「塚田君の一四歩の受けは、三五

れは下手万として富然の手で

単手袋の上から自分の右の手を掘

っな領棋で眺めてゐた。未だ姚 でれから後の自分は、愛子に對す 目身ではなかつたか?

すの心を配しては可けないと云

顕は一六歩空の局面 香落番 大阪 > 塚

系族選に交って京城驛に見送りに

月で十八といふ年の暮れで

步

原を埋めて始終自分に向か

表 第 題

○||三||百円▼ ||六歩|

金易頭

併し台がら

は、そのお方が御気に召さない

否々、それにも増して附に落ち兼

を以下途を採すに如くはない

殿を出て、自分の手で父親の借金

の深持が入り風れて來た。只問一 しての立場から當然故さるべき

「〇時三〇分(東) 母の時間 一〇時三〇分(東) 母の時間

自分に、五年後を討したのは幹太

二流争弱血

ところで一寸考へてから、二六歩らくへと進んだが、敵の四四歩の

を達のは運轉者で 3ものは運轉者だ メバー過ぎません

トラツクは利益を得る爲の投資物として

トラツクの眞價を證據立てる眞の試驗こ は、最大量の物貨を一定の距離を時間内

に最少限度の運賃で運搬するその輸送能

フォードが之等の要求に合致するに最高

に於て凡ゆる他のトラックを全部合した

より以上販賣されてゐる事實に照しても

製作されたものです

明白であります

取つて置きの作戦らしいだがこすが、と洩してゐる

VIIへば華々しく世間へ出て來た

腸の銀時計組に入つて、何方か

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

猪無断上演映

鹿島喝秋作詞

同八時四〇(東)今日

小崎 政房

(京) 時期 (東) 時期 (東) 5年 (東) 5年

| 午後零時五〇分 (清) 梁古風景

E 趣味器液

を中止するやうた不都合は来さな

状態出来てゐると云ふ。本當だら は相愛の男があって、結婚の約 それに何ぞや、今の客は、愛子 ものが膨にあった。 の間にか幹太に甘へからつてゐる の情の温か味を描いては外にない そして、自分の気様の中にも何時 援間には用はなか、た 立ち上ららとして椅子の背に手を

もら此の感

服通を受けました。一直囲の利息の

地方へのニュース(照幹部・参加方へのニュース・気象連報・

同二時 野球中央建選決所職 二政送)

同六時 管拉樂と器業獨奏

を習通の言葉から考へて見ると語

。就きましては、亡父の賑行から

機子だつたが、

「うむ。」と幹太は野く考してゐる

「あの事は――と、他にも未だ君

幹太には娘は一人しかない誰だ。│ものに行き當つたやうな郷がした│瞳々した遊い顔、マドロスパイプ | お題さ | 太を観つて来たとが、脚立たしい | 策、資館の整理方法等について軽 今はもら人手に渡つた鍵山の善後 としてゐた――周一郎は恋ろしい 一以則と少しも鯉る庭なかつたが段 とは打つて懸つた憤りの色があり 太を迎へた周一郎の暗には、 入って來たのは脱太その人だった について、自分に何か云ひたいの 他の話とは大方葉子を他家に遣る

同六時10分(東)コドモの新聞 対 道子 関根芳男作詞岡本

廿六日き、物

る、最太夫の太夫になると二本三

は二尺音を使用されたいものであ が絲の場合、尺八は一尺九寸音交

◆破寒館に於ける三曲合衆には里

とか三、四といふ風に改良したい

本時には一本等をいふ思い調子を

◆糸竹の合巻には演奏者互の急気

を合せることが最も大切であるが ら一夜道ではなられ、十分往急が これはなかくくむつかしい事だか

と、すれば旅でも愛子に述ひない

さらだ。臓に動いた。

出來事で-----』と云ひながらパイ うで、質にどうも、あまり題外な お父さんが飛んだことになったさ **政向ひの椅子を引いた。** 『今朝銀行へ来て知つたのだが、 君は、あの事他のあつた時は何

廿五日番組 (土曜日)

同六時三〇分(東)建成獨游講 午前六時 ラギオ糖操 第一放送

「うむ。矢張りさうだつたのか

遊病者の話中村市

子供と家庭の夕

ニユース・天気見込・職

武出雪夫作詞

多くの農家は作物の害蟲が相當出た頃にその艦除を叫ぶや

、九月十三日夜陣中作 、鼠陽後一日 | 管原道真・作 | 時時 佐々木差吾 | | お話 奈良島知堂

の蟲に割する知識を充分浄たぬためと思はれる。又断除すの時も大抵被密が進んでから騒ぎ立てるのは、つまり之等 褶の蟲に對しても同様で獣の大きい浮磨子、二化無虫など るにしてもその知識を充分持たぬためと思はれる。又防除 うでありますが、既に防除の適期は失してゐるのである。 つて今日の樂譜吹奏よりも結果は

分には略氏暗譜で吹奏出來る故却 ぎ日時を要したが其の曲の了る時

稲の虫と防ぎ方 ―廿六日午前六時半から― 昌之

音の尺八の稽古は一曲を了るに長 ◇尺八吹奏は暗譜法に依るべし、 曲 秋 谷

國大阪商船點出帆

期鮮並送支店 開始二人番

北部商船組工人看

定鮮 畑紬

九州郵船株式會社

代理店

山出帆 代型店 日本神丸 代型店

が添き値がめにたるには 是非フオート レー& トラックをほ選び下さい フォード特約販賣店 本 店 朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 平南自動車商會 京城府岩草町大通 平獎府資町五 釜山府祭町一ノ四一 大 商 鏡モーター高會 髙 ウ 全洲府本町一丁目 成典府 朝日町一三六 清津府雅生町六

のんで 勝ちつづけ 夜朝 八十 時時